

【2021年設立】
ローカルSDGs四国
(LS四国)とは・・・

四国の地域課題を解決し、持続可能な地域づくりを進めていくための「地域循環共生圏＝ローカルSDGs」の達成に向けて、積極的に取組を推進するプラットフォームです。詳細はホームページで！ <https://ls459.net/>
中国四国地方環境事務所四国事務所と四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)が運営しています。



新規会員募集中！

会員登録は、右のQRコード・下記URLから！

https://ls459.net/?page_id=51

※または「入会申込書」に必要事項を記載の上、

LS四国事務局 info@ls459.net_までご提出ください。



入会すると

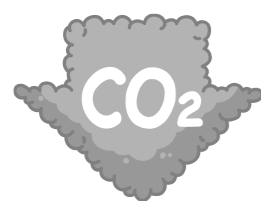
すべて会費無料で

たくさんのメリットが！

現在の会員数**191!** 2023.9.30時点
(個人会員含む)

企業・金融機関・その他関連団体
徳島14 香川41 愛媛28 高知16 四国外5
市民団体・NGO/NPO・その他団体
徳島5 香川10 愛媛13 高知6 四国外1
自治体・政府関係機関・公益法人等
徳島6 香川7 愛媛22 高知8
大学・研究機関・教育関連機関
徳島1 香川1 愛媛1 高知1

多様なステークホルダーとコラボするきっかけ、最新の情報を提供します！！



1. SDGs経営等の支援

- LS四国等が主催する勉強会・交流会に参加できます。
- 様々な先進事例の紹介を受けられます。
- 人材育成のサポートを受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。



2. 情報収集・共有・発信

- LS四国kintone等を通じて、自社の取組を四国内外に発信できます。
- LS四国kintone等を通じて、他の会員の取組などの情報をいち早く収集できます。

3. マッチング支援

- イベント参加や、コンサル会社等を通じて、自社の強み(シーズ)を地域課題解決(ニーズ)に活かすマッチングの支援を受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。



4. 仲間づくり・ネットワークづくり

- イベント参加、LS四国kintone等を通じて、地域課題解決に向けた仲間づくりができます。
- テーマごとの分科会の活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題解決に貢献することができます。



6. 優良な取組の表彰

表彰制度により、優良な取組を強力に発信することができます。



5. 資金調達及び金融連携の支援

- 地域金融機関におけるESG金融の取組を促進・支援します。
- 国・自治体等の助成制度等について紹介・相談を受けられます。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



ローカルSDGs四国



いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

LS四国ニュースレター Vol.05
(2023年9月発行)

<LS四国ロゴについて>

四国各県の特徴を表す色でローカルSDGs四国のロゴを囲み、循環する様子を表現しています。
徳島:藍 / 香川:オリーブ / 愛媛:柑橘 / 高知:太平洋

TOPICS LINE [2023年度上半期]

- 〇 団体会員186団体、個人会員5名となりました。(9月30日現在)
- 〇 LS四国総会とフォーラムを愛媛大学で開催しました。(7月7日)
- 〇 南海トラフ地震香川液化化対策コンソーシアムと香川大学共催で、「対策いろいろ 防災ESD」を開催しました。(9月8日) ※下記参照
- 〇 四国の課題解決に向け「四国マルチステイクホルダーダイアログ」をオンラインで開催しました。(9月26日) ※下記参照
- 〇 分科会『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会分科会が8月に立ち上がりました。

〇 共同代表に、大林圭司氏(中国四国地方環境事務所四国事務所長)が就任しました。



皆様初めまして。この度、四国事務所長に着任しました大林と申します。前部署の本省自然環境局外来生物対策室では外来生物に関する法律や制度の改正、ヒアリへの対処などに携わっていました。私自身は自然保護業務を主に行うレンジャー職で、全国転勤してきましたが、四国は初めてとなります。
四国における地域循環共生圏の推進に向け、ローカルSDGs四国(LS四国)が設立して3年目を迎えました。四国は、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自

然災害の発生などにより、地域の存続に関わる難題に直面しています。このような四国の地域課題を解決するため、LS四国では地域創生に向けたイベントの開催、また会員数を増やし、さらなる仲間・対話の場づくりに精力的に取り組む、と聞いています。私自身、まだ来てわずかですが既に四国の多様な資源に驚いているところです。それらを活かした四国の地域課題解決への貢献とLS四国のさらなる盛り上げに尽力して参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

〇「対策いろいろ 防災ESD」を開催

LS四国の分科会のひとつである「南海トラフ香川液化化対策コンソーシアム」、LS四国の協力機関である香川大学との共催で情報交換会を開催しました。

今回は南海トラフ地震時に想定される液化化現象に的を絞り、その原理と対策について、香川大学創造工学部准教授・荒木裕之氏にご講演をいただき、取組発表では、南海トラフ地震香川液化化対策コンソーシアムによる液化化対策から液化化被害や対策工法の紹介、玉津みかん生産者の動画と四国災害ボランティアネットワークから西日本豪雨災害と復興に向けた取組等の共有をいただきました。また、話を聞きに行こうタイムを設け、防災に関する団体の方から直接お話を聞くこともできました。多くの参加者から「大変勉強になった」とご好評いただきました。



〇「四国マルチステイクホルダーダイアログ」を開催

LS四国における課題解決支援の流れを作るために、今年度は「地域課題」そのものから考える企画をNPOと協働で開催しました。

SDGs達成に向け、自社だけの利益や株主との直線的な関係に固執するのではなく、多様なステイクホルダーを包含した事業展開が、あらゆる主体に求められるようになっていきます。このような変化を四国から捉え、多様な価値や異なる視点を活かし、対話を重ねることによって四国のありたい未来をグループで共有し、現状を見つめ直すワークを通して、四国の地域課題・持続可能性を参加者全員で考えました。

参加者からは「地球温暖化から宇宙への移住など夢のある話まで聞けておもしろかった。」や「自分の考えが深堀できた。」などのご感想をいただきました。次回は12月に対面のダイアログ開催を予定しています。



ローカルSDGs四国 (LS四国)事務局
環境省中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課 Tel.087-811-7240
四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO) Tel.087-816-2232

ホームページ: <https://ls459.net/>
メールアドレス: info@ls459.net

【2021年設立】
ローカルSDGs四国
(LS四国)とは・・・

四国の地域課題を解決し、持続可能な地域づくりを進めていくための「地域循環共生圏＝ローカルSDGs」の達成に向けて、積極的に取組を推進するプラットフォームです。詳細はホームページで！ <https://ls459.net/>
中国四国地方環境事務所四国事務所と四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)が運営しています。



新規会員募集中！

会員登録は、右のQRコード・下記URLから！

https://ls459.net/?page_id=51

※または「入会申込書」に必要事項を記載の上、

LS四国事務局 info@ls459.net までご提出ください。



入会すると

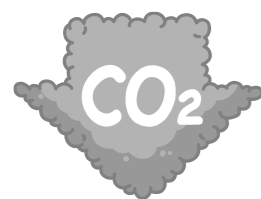
すべて会費無料で

たくさんのメリットが！

現在の会員数**191!** 2023.9.30時点
(個人会員含む)

企業・金融機関・その他関連団体
徳島14 香川41 愛媛28 高知16 四国外5
市民団体・NGO/NPO・その他団体
徳島5 香川10 愛媛13 高知6 四国外1
自治体・政府関係機関・公益法人等
徳島6 香川7 愛媛22 高知8
大学・研究機関・教育関連機関
徳島1 香川1 愛媛1 高知1

多様なステークホルダーとコラボするきっかけ、最新の情報を提供します！！



1. SDGs経営等の支援

- LS四国等が主催する勉強会・交流会に参加できます。
- 様々な先進事例の紹介を受けられます。
- 人材育成のサポートを受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。



2. 情報収集・共有・発信

- LS四国kintone等を通じて、自社の取組を四国内外に発信できます。
- LS四国kintone等を通じて、他の会員の取組などの情報をいち早く収集できます。

3. マッチング支援

- イベント参加や、コンサル会社等を通じて、自社の強み(シーズ)を地域課題解決(ニーズ)に活かすマッチングの支援を受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。



4. 仲間づくり・ネットワークづくり

- イベント参加、LS四国kintone等を通じて、地域課題解決に向けた仲間づくりができます。
- テーマごとの分科会の活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題解決に貢献することができます。



6. 優良な取組の表彰

表彰制度により、優良な取組を強力に発信することができます。



5. 資金調達及び金融連携の支援

- 地域金融機関におけるESG金融の取組を促進・支援します。
- 国・自治体等の助成制度等について紹介・相談を受けられます。



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



ローカルSDGs四国



いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

LS四国ニュースレター Vol.05
(2023年9月発行)

<LS四国ロゴについて>

四国各県の特徴を表す色でローカルSDGs四国のロゴを囲み、循環する様子を表現しています。
徳島: 藍 / 香川: オリーブ / 愛媛: 柑橘 / 高知: 太平洋

TOPICS LINE [2023年度上半期]

- 〇 団体会員186団体、個人会員5名となりました。(9月30日現在)
- 〇 LS四国総会とフォーラムを愛媛大学で開催しました。(7月7日)
- 〇 南海トラフ地震香川液化化対策コンソーシアムと香川大学共催で、「対策いろいろ 防災ESD」を開催しました。(9月8日) ※下記参照
- 〇 四国の課題解決に向け「四国マルチステイクホルダーダイアログ」をオンラインで開催しました。(9月26日) ※下記参照
- 〇 分科会『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会分科会が8月に立ち上がりました。

〇 共同代表に、大林圭司氏(中国四国地方環境事務所四国事務所長)が就任しました。



皆様初めまして。この度、四国事務所長に着任しました大林と申します。前部署の本省自然環境局外来生物対策室では外来生物に関する法律や制度の改正、ヒアリへの対処などに携わっていました。私自身は自然保護業務を主に行うレンジャー職で、全国転勤してきましたが、四国は初めてとなります。
四国における地域循環共生圏の推進に向け、ローカルSDGs四国(LS四国)が設立して3年目を迎えました。四国は、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自

然災害の発生などにより、地域の存続に関わる難題に直面しています。このような四国の地域課題を解決するため、LS四国では地域創生に向けたイベントの開催、また会員数を増やし、さらなる仲間・対話の場づくりに精力的に取り組む、と聞いています。私自身、まだ来てわずかですが既に四国の多様な資源に驚いているところです。それらを活かした四国の地域課題解決への貢献とLS四国のさらなる盛り上げに尽力して参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

〇「対策いろいろ 防災ESD」を開催

LS四国の分科会のひとつである「南海トラフ地震香川液化化対策コンソーシアム」、LS四国の協力機関である香川大学との共催で情報交換会を開催しました。

今回は南海トラフ地震時に想定される液化化現象に的を絞り、その原理と対策について、香川大学創造工学部准教授・荒木裕之氏にご講演をいただき、取組発表では、南海トラフ地震香川液化化対策コンソーシアムによる液化化対策から液化化被害や対策工法の紹介、玉津みかん生産者の動画と四国災害ボランティアネットワークから西日本豪雨災害と復興に向けた取組等の共有をいただきました。また、話を聞きに行こうタイムを設け、防災に関する団体の方から直接お話を聞くこともできました。多くの参加者から「大変勉強になった。」とご好評いただきました。



〇「四国マルチステイクホルダーダイアログ」を開催

LS四国における課題解決支援の流れを作るために、今年度は「地域課題」そのものから考える企画をNPOと協働で開催しました。

SDGs達成に向け、自社だけの利益や株主との直線的な関係に固執するのではなく、多様なステイクホルダーを包含した事業展開が、あらゆる主体に求められるようになっていきます。このような変化を四国から捉え、多様な価値や異なる視点を活かし、対話を重ねることによって四国のありたい未来をグループで共有し、現状を見つめ直すワークを通して、四国の地域課題・持続可能性を参加者全員で考えました。

参加者からは「地球温暖化から宇宙への移住など夢のある話まで聞けておもしろかった。」や「自分の考えが深堀できた。」などのご感想をいただきました。次回は12月に対面のダイアログ開催を予定しています。



ローカルSDGs四国(LS四国)事務局

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課
四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)

Tel.087-811-7240
Tel.087-816-2232

ホームページ: <https://ls459.net/>
メールアドレス: info@ls459.net